



Rocket® Data Replicate and Sync™ :

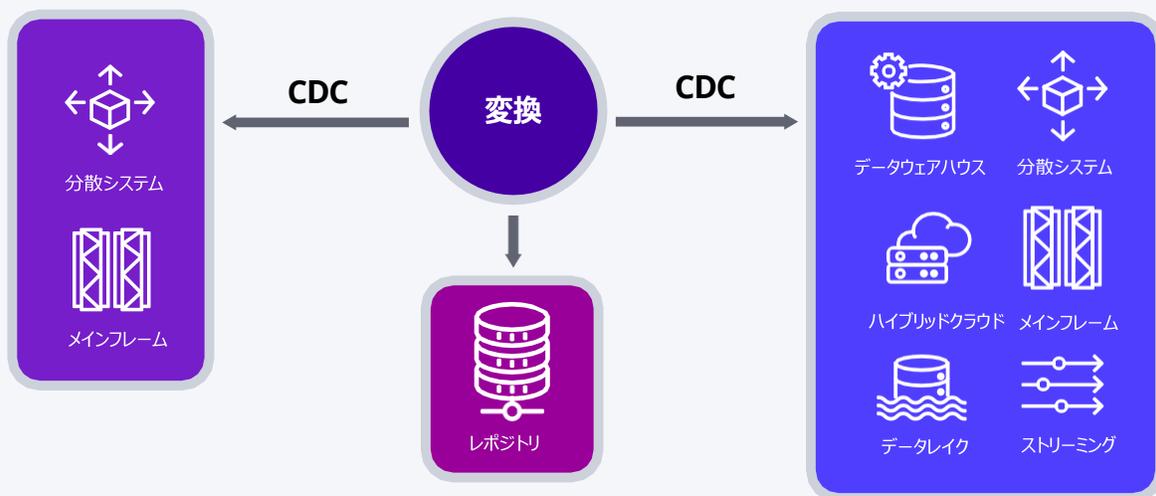
データの一貫性を保証する

低レイテンシー、高品質、最大限の一貫性

いつでもどこにでも、シームレスかつリアルタイムにデータを提供

信頼性の高い完全なデータがなければ、確かなビジネス判断を下すことも、業務を効率化することも、自信を持ってAIやアナリティクスに取り組むこともできません。メインフレームのデータは、企業がリアルタイムなビジネスを実現する際に見落とされやすい重要な要素です。

Rocket® Data Replicate and Sync™ (RDRS) が、価値の高いAI／アナリティクスの取り組みに向けてすべてのデータを戦略的に整備することを支援します。メインフレーム、分散システム、クラウドプラットフォームを問わず、データを高性能かつリアルタイムに複製して現代化を加速させると同時に、コスト、複雑性、レイテンシー、エラー、相互作用性の問題を削減します。



RDRSは、業務に混乱を招くことなく環境を現代化し、変化の激しい市場において明確な競争上の優位性を獲得できるように企業を支援するソリューションです。Db2®からKafka、VSAMからSnowflake、AdabasからBigQueryなど、あらゆるニーズに対応し、企業全域のデータを簡単に統合できるように支援します。



「Rocket Data Replicate and Syncを利用し、よりコストの低い環境へリアルタイムにデータを複製することによって、メインフレームのコストを大幅に削減することができます。リアルタイムのイベント処理、リアルタイムアナリティクス、リアルタイムの不正防止は、当社が現在対応しているユースケースの一部に過ぎません。」

ITアプリケーション責任者

欧州の大手銀行

RDRSの優位性

01 移行元と移行先の両方について、最も多くのプラットフォームに対応

以前はサイロ化されていたメインフレーム、分散システム、クラウドのデータを連結し、必要な時に、必要な場所へ、必要な手段を使って、包括的な結果を提供することを可能にします。

02 超高速レプリケーション

レイテンシーが1秒未満の超高速レプリケーションによって、最新データに基づくアナリティクスと十分な情報に基づく即時ビジネス判断を支援します。

03 費用効率の高いキャプチャ

クラウドコンピューティングを利用してデータを変換することにより、メインフレームのCPUコストを大幅に削減します。

04 柔軟で拡張性のあるアプリケーション

バッチ、ストリーミング、イベント駆動型など、さまざまなレプリケーションに対応するため、あらゆるビジネスニーズに応えられます。

05 回復力と信頼性の高いテクノロジー

復旧、ロールバック、データ整合性チェックなどの搭載機能でデータを完全に復元できるため、データの完全性を保証できます。

06 エンタープライズレベルのデータセキュリティ

暗号化、セキュアな接続、サイト間VPN、サービスアクセス機能（SAF）制御、高度なフィルタリングなどのメカニズムによって、保存データと転送データを保護します。

07 自動的な双方向のデータ移動

カスタムプログラミングの必要なく、クラウド、オンプレミス、ハイブリッド環境の重要なデータをリアルタイムに同期します。

RDRSはデータ変更を自動的にキャプチャし、即座にすべてのデータストアに複製します。このアプローチによって転送中のデータを保護し、常に必要な場所で正確な最新情報を利用できる状態を確保します。また、データは適切な形式に自動調整されるため、エラーが減り、エンドユーザーのアクセスが簡素化されます。

RDRSのユースケース

01 医療患者の分析による公衆衛生管理

ある地域医療ネットワークは、RDRSを利用してIMS™からAWS上のSnowflakeへと安全に患者記録を移行しています。これにより分析が高速化され、医療の質の向上、リスクのある患者集団の特定、医療費控除プログラム向け報告システムの改善といったメリットを得られるとともに、HIPAAおよびGDPRの要件を満たすことが可能になります。

02 製造業における生産性の最適化と 予知保全

あるグローバルメーカーは予測分析のため、メインフレームのテレメトリをDatacomからKafka経由でAzure® Synapseへ移行しています。同メーカーはRDRSを利用し、生産や保全に関する最新データをリアルタイムにクラウドモデルへストリーミング送信することで、予期せぬダウンタイムにより数百万ドル規模に上る可能性もある損失を回避することができます。

03 小売とECの在庫管理の一元化と 需要予測

ある全国展開の小売業者は、数千店ある店舗のDb2 for iSeriesからSnowflakeへと、毎日データを複製しています。同社はRDRSを利用し、各店舗のリアルタイムの在庫データとPOSデータを可視化させました。これにより、繁忙期における商品の入手可能性が向上し、収益が増加しています。

04 金融サービスによるリアルタイム不正検知

ある銀行はRDRSを利用し、z/OS®上のVSAMデータをAWS® AuroraおよびS3へリアルタイムに複製しています。不正分析エンジンが数時間ではなく数秒で不審なカード取引を検知するため、年間数百万ドルの損失を削減することができます。

私たちは、このような未来の実現を支援します。現代の企業は、顧客データや業務データから市場動向やSNSのインサイトに至るデータを確かな方法で複製・管理することで、ビジネスのイノベーションと最適化を推進しています。

エンタープライズデータを素早く移動できるシンプルな構造

RDRSはRocket® DataEdge™スイートの一部です。会社全域のシステム、データソース、環境を接続することで、コストを削減し、AIやアナリティクスの取り組みを推進するほか、確かなビジネス判断を可能にします。



Modernization. Without Disruption.™

Webサイトをご覧ください

© Rocket Software, Inc. or its affiliates 2025. All rights reserved. Rocket および Rocket Software ロゴは、Rocket Software, Inc. の登録商標です。他の製品名とサービス名は Rocket Software または関連会社の商標の場合があります

Db2、z/OSおよびIMSは、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

MAR-16595_DS_RDRS_V5

RSDDRS01-202603-KA

